

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.8



【発行】

川崎市老人福祉施設事業協会

〒213-0001

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内

TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077

http://www.kawasaki-roushikyo.org/

年頭の御挨拶



川崎市長 福田 紀彦

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、今年一年が明るい話題の多い、良い年になりますようお願いしております。

私は昨年十月の市長選挙において、市民の皆様から負託をいただき、川崎市長としての重責を担わせていただくことになりました。

これからは、市民の皆様のご期待に応えられますよう、子どもたちの笑顔がふれる、幸せなまちづくりを進めてまいります。まずは、未来への投資として、子育てのサポートに力を入れてまいります。

早急に「待機児童ゼロ」を実現するとともに、中学校給食の実施に向けた取組を強力に推し進めてまいります。

また、高齢者や障害者が地域で生き生きと暮らせるまちづくりを進め、「安心のふるさと」づくりを進めてまいります。

こうした市民サービスを支えるためには、「力強い産業都市」として、さらに発展していく必要があります。キングスカイフロントを中心とした生命科学や医療技術を活かしたライフイノベーション、都市基盤の整備、ベンチャービジネスの拡大や新技術の開発支援等の市内企業の振興などを進めてまいります。

このように、「安心のふるさと」づくりによる成熟したまちづくりと、「力強い産業都市」づくりによる成長を、バランスよく進めることで、誰もが幸せに暮らせる「最幸」のまちづくりを目指してまいります。



昨年は、富士山の世界文化遺産への登録や、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、市内では「ミューザ川崎シンフォニーホール」のリニューアルオープンなど、明るいニュースが多くありました。

今年、本市は市制九〇周年という大きな節目を迎えます。

この九十年の間に、人口は約五万人から約一四五万人となり、本市は大都市へと変貌しました。このような節目の年に、本市では初の公立中高一貫校となる川崎高校附属中学校が開校いたしますとともに、小杉駅南側の駅前広場の整備が完了し、広域拠点としての利便性がさらに向上いたします。これからも、九〇年という歴史の重みの上に今日の川崎があることを思い、川崎の未来を先頭に立つて切り開いてまいります。

高齢者施策につきましては、今年は、平成27年度から29年度を計画期間とする「第6期計画・かわさきいきいき長寿プラン」の策定を予定しておりますが、市民本位の施策の更なる充実を図っていくためには、

社会福祉法人をはじめ、施設や事業所に従事されている方々のご理解、ご協力が不可欠であります。

私の市政に取り組む基本姿勢は、「対話」と「現場主義」です。市民や企業、地域で活動する団体など、さまざまな現場に出向き、ご意見を直接お聴きしながら、川崎のさらなる発展に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

結びになりますが、「川崎市老人福祉施設事業協会」の皆様益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のお祝いのご挨拶とさせていただきます。



～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.8

～新春を迎えて～



川崎市老人福祉施設事業協会
会長 深瀬 亮一

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはお揃いで、平成26年の新春を和やかにお迎えになったこととお慶び申し上げます。また、年末年始の特別勤務体制の中で想いを新たに新年を迎えられた皆様には、大変御苦労さまでした。

今年は午年、それぞれが思いをはせる馬の躍進・スピードを願った方も多いのではないかと思います。期待したいものです。

昨年の24日安倍政権は、96兆円に達する来年度の政府予算案を閣議決定しました。歳出で最も大きい社会保障費は30・5兆円と初めて30兆円を突破したようですが、新聞報道で見るかぎり基礎年金と都市部で不足する保育の受け皿増などが記事に散見されましたが、高齢者福祉にかかる充実恩恵が見当たりませんでした、チヨット残念です。

17年ぶりの消費増税を迎えますが、介護報酬にはそれなりに反映されることですので注視していききたいと思えます。

昨今の若年層の介護職離れや、急速な高齢化の進行に伴う待機者増等により福祉現場における人材不足は深刻化し、現実に事業協会の施設においても運営に支障をきたす状況が生じており、今後このような状態が続けば福祉サービスの質・量の低下へとつながり、利用者の処遇に大きく影響をもたらしかねません。

このような中で、施設長会の人材確保対策委員会、研修委員会等では人材確保のため福祉専門学校との連絡調整、職員のスキルアップのための研修会の開催、お年寄りが楽しみにしている文化事業など様々な活動を積極的に実施してまいりました。



昨年十月の市長選挙において新たに福田市政が誕生しました。高齢者や障害者が地域で生き生きと暮らせる街づくりを進め「安心のふるさと」づくりをすすめていくという力強いメッセージを発信しています。また、現場に出向き直接意見を聞く現場主義を提唱しています。期待しつつ注視してまいります。

事業協会としましては、会員施設が増え大きく変化する川崎市の中で、施設を取巻く環境の変化に適切に対応し、福祉人材の確保定着を重点課題とし福祉サービスの向上に努め、会員皆様とともに着実に事業を推進してまいります。

今後ともより一層の御支援をお願い申し上げます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

～楽しい福祉を皆さんに!!～

Vol.8

らくふく瓦版

研修委員会報告



職員研修会

平成25年11月15日川崎市総合福祉センターにて当協会研修委員会が主催する第3回職員研修が開催されました。

今回は「安全な介護」ポジティブ・リスクマネジメント」というテーマで、生活とリハビリ研究所研究員の下山名月先生を講師としてお招きしました。

この「安全な介護」研修は、介護現場における『事故』の考え方を基に、従来からの『持ち上げる・釣り上げる・宙を飛ばす』介護は利用者本人や介護者にとって非常にリスクが高く行ってはいけない介護であると捉え、適切な介助とはどのようなことなのかを事例を基に紐解いていき、とても分かりやすく介護観を見直していくことのできる研修として好評で受講希望者も多く、ここ数年継続して開催しております。

研修は、6つの介護場面で発生した事故について、受講者が6グループに分かれ事例検討と同時に、適切な介助の

方法について下山先生から解説を受けながら車イスを使い実技研修を行いました。

今回は特に、生活上のあらゆる動作の基本となる「座位姿勢」の重要性を中心として、利用者本人が使える身体機能を、どのように生かし使えば、リスクが少なく本人自身の力を使って動くことができるのか？を実際に実技を交え受講者自身が体験することで、理解を深めることができ、まさに、受講者一人ひとりにとって介護観を見直すことのできる研修となりました。

介護支援専門員研究部会

介護支援専門員部会は平成21年2月に発足し、今年で4年が経過しました。

同じ介護支援専門員という職種であっても、施設と在宅の仕事内容には相違がある中ではありましたが、とりあえず共通課題をテーマとしてスタートし、年3回程度の部会

を開催しながら研修を重ねてきたところです。

役員は、当初5名体制でしたが、現在は施設から2名在宅から2名の計4名が選出され、企画運営を行っています。

今年度は、第2回研究部会を11月22日（金）に『高齢者虐待と権利擁護』をテーマとして大山街道ふるさと館において開催し、他職種も含め44名の参加がありました。



講師には、「あい権利擁護支援ネット理事」川端伸子氏をお迎えし、主に「施設における高齢者虐待」について講演を戴きました。

先生はもと介護職員であったことから、自らの現場体験を踏まえた内容が現場の身近な事例が多く、理解しやすかったと大変好評でした。

新聞報道されたいくつかの事例をもとに、不適切なケア及び高齢者虐待防止法の概念の理解を再確認することともに、虐待防止のためには個人の意識改革だけではなく、組織的見直しの必要性があらわ話されました。

虐待は、自覚なく行われ、報道されて初めて虐待と認識することが多く、日常において、利用者本位・人権擁護の視点に振り返ることの大切さと、具体的には根拠に基づいたアセスメント及びケアプランの重要性が虐待の芽に気付くことになることと講義されました。

限られた時間での大変貴重な研修は、受講者アンケートからもリクエストの声が多くあがりました。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 母子育成会
高齢者福祉施設 しおん

〒210-0001

川崎市川崎区本町1-1-1

TEL:044-222-7761 / FAX:044-222-7796

社会福祉施設「しおん」は、川崎区の京浜急行川崎駅から3分の商業地に立地し、川崎駅のホームからは20〜30メートルの目の前に見えて、ホームから求職のお電話をいただくこともあります。

特養、ショートステイ、デイサービスとの直接介護3部門85名と居宅介護支援センターと地域包括支援センターの訪問支援2部門を経営しますが、町中で、総合福祉施設の割には小規模で、7階建てのつばビルになっています。

ビル内に保育園を併設していることが特徴で、季節の折々には子供たちが歌を歌ってくれたり、



【施設外観】

毎朝、新聞を配達してくれて、そういうときは利用者の方々も顔をくしゃくしゃにして元気になります。

年間の行事では、できるだけ入居者個人の希望をお聞きして、小人数で八景島とか東京タワー、上野動物園に行ったり、また近所の映画館や居酒屋、買い物にいったりして、楽しみや変化に富んだ生活をしていただいています。

室内で行う行事でも、歌、踊り、手品、腹話術、クラシックなど、多彩なボランティアさんに参加をいただいていますし、夏祭りには、近隣3町会の神輿がしおん



【園児との交流会】

まで回り道をして集まってくれて、利用者も園児も1つになつてやんやの喝采です。

これからも利用者一人一人のその時々状態や気持ちを大切に、毎日に丁寧な寄り添っていききたいと思っています。



【ゲームセンターにて】



【フラダンスショー】

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 セイワ
介護老人福祉施設 鷺ヶ峯

〒216-0014

川崎市宮前区菅生ヶ丘13-1

TEL:044-978-2721 / FAX:044-976-6470

事業概要

- ・特別養護老人ホーム 72床
- ・ショートステイ 18床
- ・デイサービス 30名
- ・居宅介護支援センター
- ・地域包括支援センター

昭和40年に養護老人ホーム、昭和46年に川崎市初の特別養護老人ホームとしてこの地に建立され、平成12年に新しく建物が建て替わり、介護保険制度の創設とともに在宅サービスを兼ね備えたモダンな建物に改築され、早くも13年半の年月が流れました。

鷺ヶ峯は宮前区にある、多くの緑に囲まれた高台に建ち春は満開の桜が咲き、夏は蝉の鳴き声の合唱が聞こえ、秋にはトンボが飛び交いとても季節を感じる事が出来ます。



【「第45回神奈川建築コンクール奨励賞」を頂いております】

当施設の「お花見」は、数十本の桜が見事に満開になります。今年は4月8日（日）にご利用者様とご家族様が大勢参加されて、桜の花吹雪を皆様が楽しめました。地域のボランティアの方々の協力を頂き屋外や琴の演奏、そして野だても催され大好評でした。

鷺ヶ峯デイサービスは、定員30名でご利用いただいております。季節を感じられるプログラムを毎月ご用意しております。

（今後の予定）

- 11月運動会
- 12月クリスマス会
- 1月お正月＆ビンゴ大会
- 2月節分＆鍋会
- 3月映画会＆お花見



ご利用者様、ご家族様、地域の皆様とより良い交流を深める架け橋として、また常にかれた施設として、皆様から喜ばれるサービスを目指して行きたいと思っております。



【納涼祭風景】



【毎回一日2回ラジオ体操を行っています】

福祉施設のご紹介

**社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団
川崎市多摩老人福祉センター**

〒214-0012

川崎市多摩区中野島5-2-30

TEL:044-935-2941 / FAX:044-933-5024

川崎市多摩老人福祉センターは、平成5年10月1日に開所しました。

JR中野島駅、登戸駅から徒歩20分ほどの住宅地にあり、建物は3階建てで1階には「デイサービス」があります。2階、3階は「老人福祉センター」で年間を通して趣味、学習、健康関連の講座を開催し、高齢者の健康づくり、生きがいづくりを行っています。

隣接する市営住宅の中には多摩川中野島シルバーハウジングがあり、「生活援助員派遣事業」を実施しています。



デイサービスセンターは開所以来、多くのボランティアの方々に支えられています。歌や楽器の演奏、踊り、裁縫のお手伝いなど土曜日も含めほぼ毎日来て下さっています。

また、レクリエーションでは、利用者が運動に対して拒否感を持たず、楽しみながら運動の継続ができるように配慮しています。今年度は特に運動機能訓練に個性を持たせて為の工夫を行うにあたり、理学療法士から専門的な立場からアドバイスを頂いて実施致しました。

これからも、利用者の笑顔が満ち溢れ、楽しく、明るく、元気になれるサービス作りに努めてまいります。



福祉施設のご紹介

社会福祉法人 子の神福祉会
特別養護老人ホーム 富士見プラザ

〒216-0001

川崎市宮前区野川2911

TEL:044-751-2252 / FAX:044-753-6087

特別養護老人ホーム 富士見プラザは宮前区野川という地域に平成14年4月に開設した従来型の「特別養護老人ホーム」です。その他に「ショートステイ」「デイサービスセンター」「地域包括支援センター」などを運営しております。

いかかでしょう。満開の桜に囲まれた佇まい！



運営理念である「安心」「快適」「交流」をモットーに家庭のような雰囲気作りを心掛けております。

また日々の生活を楽しくしていただけるよう各種行事として夏祭りや節分その他、外出行事（ばら苑見学・お買物・外食ツアー）やクラブ活動（書道・華道・歌・居酒屋クラブ）など楽しい行事が盛りだくさんです。

また今年は新たな事業として保育園を富士見プラザ徒歩圏に開設した事もあり、保育園の園児と、盛んに交流をするようになりました。

子供たちの元気な歌声や利用者になじみ深い昔遊びなどを通じ触れ合う事が出来るようになり、今では「次はいつ来るの？」「私達が保育園に行こうか！」などと皆様に新たな生きがいが生まれたようです。

デイサービスは、中学生の職業体験や慰問などを通じて地域との交流を深めております。

地域包括支援センターは歌声喫茶や公園体操・地域行事への参加などを通じ地域ネットワークの構築や介護予防に努めております。

これからも「利用者様の笑顔」と「皆様から愛される富士見プラザ」を合言葉に職員一同努力してまいります。



～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.8

平成25年度 かわさき老人ホーム作品展 開催!



平成25年度「かわさき老人ホーム作品展」が去る10月8日から10月10日の3日間の日程で川崎市民プラザにて開催されました。この催しは、当協会主催で文化事業委員会の活動のひとつであり、市内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービスの利用者が日頃の創作作品や絵画・習字などが展示されました。

市内48施設、およそ千点の作品がところ狭しと展示され、来場者は3日間延べ千二百人の方がそれぞれの作品を丹念に観られておりました。

初日のオープニングセレモニーにおいては、当協会の深瀬会長の挨拶に続き、協会役員・利用者代表によるテープカットが行われ盛大に開幕となりました。



今年の作品の傾向として、世界文化遺産に登録されたことが影響されたのか「富士山」を取り上げている作品が会場のあちらこちらに見受けられました。どの作品も富士山の雄大さ、荘厳さが十分に表現されていました。

また、「御神輿」を題材に取り上げる作品も多く目立ったことも今年の特徴として挙げられます。「アベノミクス」による経済効果?による景気回復の願いがこめられているのでしょうか。

作品を作られた方も多数見学に来場され、ご自分の作品を前に記念撮影をしている姿は微笑ましく感じられました。

また、恒例となっている「暮らしの川柳」の展示もあり、今年は85題が出品され、来場者の投票により13題が優秀賞に選ばれました。

最優秀作品は、ケアハウスすえなが酒井二郎様の「病院で まだ生きてんのと ひ孫言いと、ヴィラー ジュ川崎中島悦子様の「赤とんぼ いっしょに行こうね 墓まいり」の2題が選ばれました。

年に一度、創作作品の集大成をお披露目するこの作品展が、高齢者の方々の生きがいとなり明日への活力となることを願って、また来年も皆様の作品に出合えることを楽しみにしております。



～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.8



編集後記

新しい年を迎え、皆さん希望や目標をもってスタートされたことでしょう。

昨年は、川崎市長選挙が行われ、新しく福田紀彦市長が誕生いたしました。若い市長の誕生に新たな市政に期待したいところです。また、二〇二〇年東京五輪・パラリンピックの開催が決定するなど、さまざまな話題がありました。今年はどういう一年になるのでしょうか。明るい話題が多い一年になるといいですね。

ここに当協会の活動内容を伝える「らくふく瓦版」の第8号を発行することができました。

「らくふく瓦版」は、市内の老人福祉の様子を少しでも皆さんに伝えられるよう、広報委員が工夫した誌面作りをしています。

今年もどうぞよろしくお願いたします。